

2010年10月4日  
三重県農水商工部

## 2010年度 第2回 三重県景気動向調査 (2010年8月調査)

### ■調査の概要

#### 1. 事業の目的

経済活動の最前線に立つ方々に対して、日々の仕事や仕事を通じて接する消費者等の様子から感じる景気状況についてアンケートを実施し、内閣府調査による全国の動向、東海地域の動向と比較・検証することにより、県内景気動向並びに緊急雇用・経済対策の効果判断の参考資料とする。

#### 2. 調査の範囲

##### (1) 調査客体

スーパーやコンビニの従業員など、景気に関連の深い動きを観察できる立場にある、三重県内の174名を調査対象としている。具体的な業種については以下の通りである。

分野		調査客体の代表的な業種
家計 動向 関連	小売関連	大型小売店（百貨店・総合スーパー）、食品スーパー、コンビニ、衣料品専門店、乗用車販売店、家電量販店、一般小売店
	飲食関連	飲食店（レストラン、居酒屋等）
	サービス関連	通信会社（携帯電話のショップ等）、都市型・観光型ホテル、旅行代理店、レジャー施設（観光名所・遊園地・ゴルフ場）、タクシー会社、理美容店
	住宅関連	住宅販売会社
企業 動向 関連	製造業	電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、化学工業、一般機械器具製造業、窯業・土石製品製造業
	非製造業	不動産業、建設業、運輸業、サービス業
雇用関連		民間職業紹介機関、学校、ハローワーク

##### (2) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県内の経済状況に応じて、北勢、中南勢、伊勢志摩、伊賀、東紀州の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町および調査人数は以下のとおりである。

地域	対象市町	調査客体数(人)
北勢	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市	79
中南勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、大紀町	45
伊勢志摩	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町	20
伊賀	伊賀市、名張市	16
東紀州	尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	14
		174

### 3. 調査内容

以下の項目につき質問を行い、DIを算出している。

- ① 景気の水準判断（現在の景気の状態）
- ② 景気の現状判断（3か月前と比較した景気の方向性）、その理由・具体的状況
- ③ 景気の先行き判断（今後2～3か月先の景気の状態）、その理由・具体的状況

### 4. 調査時期

8月中旬～下旬

### 5. 調査機関

本調査業務は、三重県が主管し、株式会社三重銀総研（本社：四日市市）が三重県からの委託を受けて実施している。

### 6. 回答状況

有効回答数153件（有効回答率87.9%）

### 7. 利用上の注意

- ・分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の調査客体による景気判断、企業動向関連業種の調査客体による景気判断、雇用動向関連業種の調査客体による景気判断を示す。
- ・表示単位未満の端数は四捨五入している。したがって、合計と内訳は一致しない場合がある。

### 8. DIの算出方法

景気の水準、景気の状態、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ下表に示す点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出している。これにより、景気の水準については、DIが50を上回れば「良い」、下回れば、「悪い」ということになる。また、景気の状態、景気の先行きについてのDIが50を上回れば「改善」、下回れば「悪化」の傾向を示すものとしている。

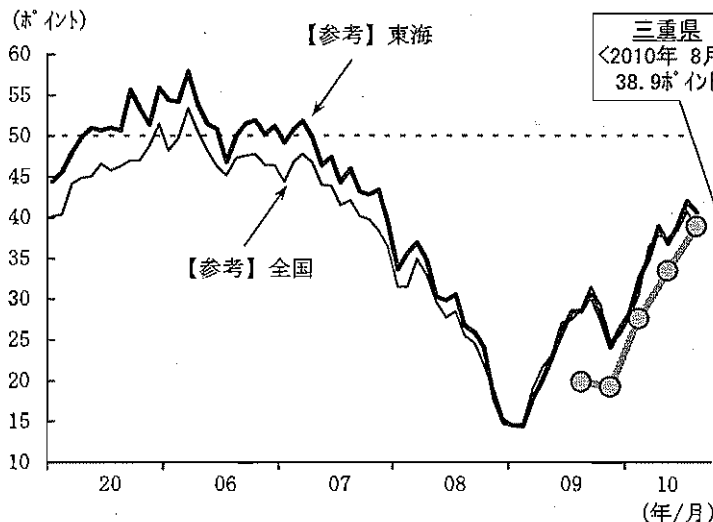
	水準判断	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	±0

## 調査結果

### 1. 景気の水準判断（現在の景気の状態）

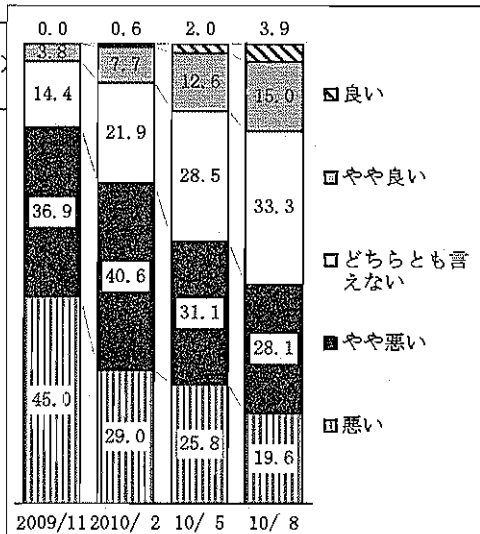
三重県の現在の景気の水準自体に対する判断について、2010年8月のDI値は38.9ポイントと、5月調査の33.4ポイントから5.5ポイント上昇したものの、好不調を判断する目安となる50ポイントを大きく下回っている。これは、内閣府の「景気ウォッチャー調査」の8月調査における全国（38.8ポイント）の値を0.1ポイント上回った一方、東海（40.6ポイント）の値を1.7ポイント下回っている。回答内訳をみると、「どちらとも言えない」（33.3%）や「やや悪い」（28.1%）の割合が高い。地域別・分野別のDI値をみると、地域別では、＜伊賀＞（43.8ポイント）や＜伊勢志摩＞（40.3ポイント）がやや高めとなる一方、＜東紀州＞（22.5ポイント）は低めにとどまっている。分野別では、＜企業動向関連＞（31.5ポイント）、＜雇用関連＞（38.8ポイント）は全国の値を下回ったものの、＜家計動向関連＞（42.8ポイント）は全国の値を3.6ポイント上回っている。

#### ◇時系列推移



（注）全国、東海は内閣府「景気ウォッチャー調査」の数値（直近値は2010年8月値）。以下の図表についても同様。

#### ◇回答内訳



#### ◇地域別・分野別DI

（単位：ポイント）

	三重県					東海	全国合計	
		北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	【参考】	【参考】	
合計	38.9	39.9	39.1	40.3	43.8	22.5	40.6	38.8
家計動向関連	42.8	43.4	44.0	50.0	—	—	39.7	39.2
企業動向関連	31.5	36.6	25.0	—	—	—	—	36.8
雇用関連	38.8	—	—	—	—	—	—	40.7

（注）三重県でサンプル数が10未満のものについては“—”で表示。

#### ◇三重県分野別DI＜時系列＞

(年/月)	2009/8	2009/11	2010/2	2010/5	2010/8
合計	19.8	19.2	27.6	33.4	38.9
家計動向関連	21.1	19.8	28.3	33.0	42.8
企業動向関連	19.9	20.3	26.6	32.4	31.5
雇用関連	14.3	13.8	26.3	37.5	38.8

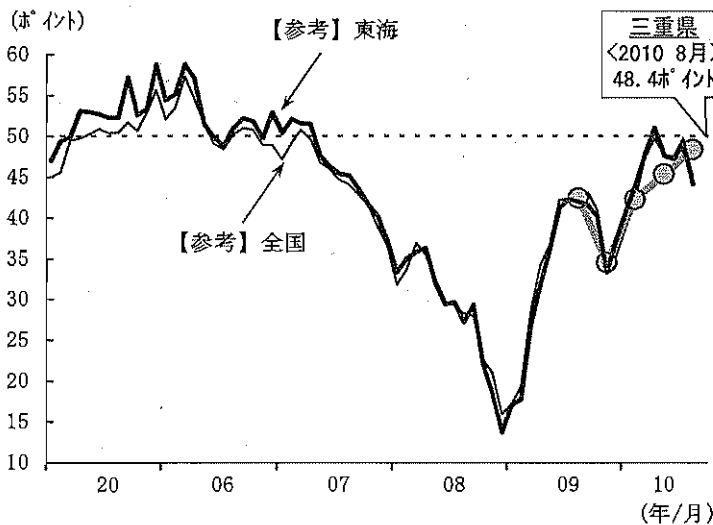
## 2. 景気の現状判断（3か月前と比較した景気の方角性）

3か月前と比較しての三重県の景気の現状に対する判断について、2010年8月のDI値は48.4ポイントと、5月調査の45.4ポイントから3.0ポイント上昇したものの、好不調を判断する目安となる50ポイントを下回っている。これは、内閣府の「景気ウォッチャー調査」の8月調査における全国（45.1ポイント）の値を3.3ポイント、東海（44.1ポイント）の値を4.3ポイント、それぞれ上回っている。

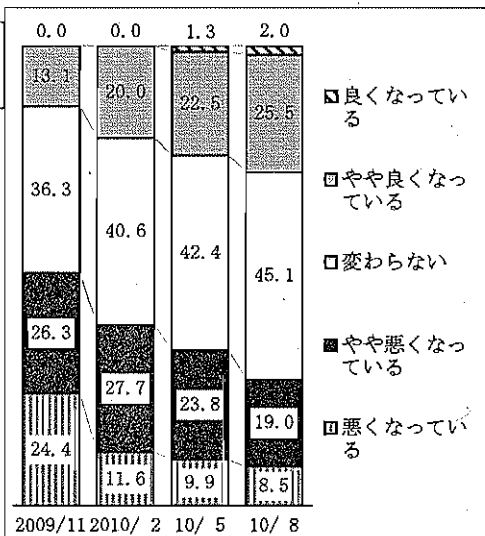
回答内訳をみると、「変わらない」（45.1%）の割合がもっとも多く、次いで「やや良くなっている」（25.5%）、「やや悪くなっている」（19.0%）の順となっている。

地域別・分野別のDI値をみると、分野別では、＜雇用関連＞（50.0ポイント）以外の2分野で全国の値を上回っている。地域別では、＜伊勢志摩＞（54.2ポイント）のDI値が高めとなった一方、＜東紀州＞（40.0ポイント）、＜伊賀＞（45.8ポイント）のDI値は低めとなっている。

◇時系列推移



◇回答内訳



◇地域別・分野別DI

(単位:ポイント)

	三重県					東海	全国合計	
		北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	【参考】	【参考】
合計	48.4	49.0	47.4	54.2	45.8	40.0	44.1	45.1
家計動向関連	49.7	49.3	53.0	56.3	—	—	41.9	44.9
企業動向関連	45.1	49.1	31.8	—	—	—	—	42.7
雇用関連	50.0	—	—	—	—	—	—	51.3

(注) 三重県でサンプル数が10未満のものについては“—”で表示。

◇三重県分野別DI <時系列>

(年/月)	2009/ 8	2009/11	2010/ 2	2010/ 5	2010/ 8
合計	42.4	34.5	42.3	45.4	48.4
家計動向関連	40.8	32.9	37.5	44.8	49.7
企業動向関連	43.2	36.5	47.8	47.2	45.1
雇用関連	47.6	37.5	51.3	43.8	50.0

### 3. 景気の先行き判断（今後2～3か月先の景気の方角性）

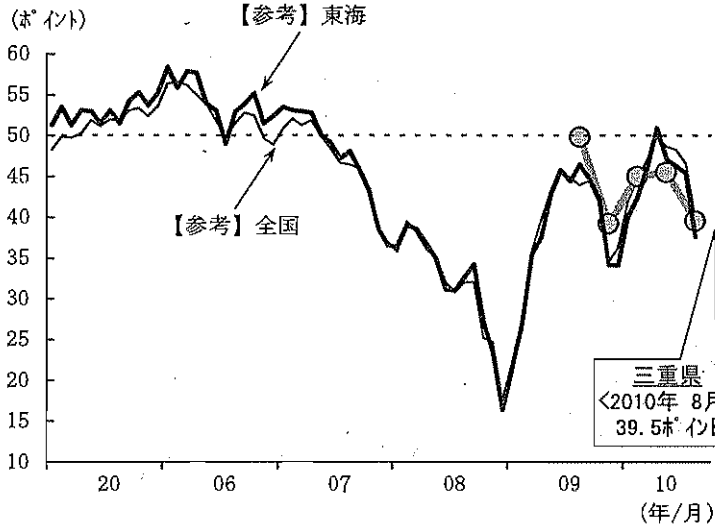
2～3か月先の景気の先行きに対する判断について、2010年8月のDI値は39.5ポイントと、5月調査の45.5ポイントから6.0ポイント低下したほか、好不調を判断する目安となる50ポイントを大きく下回っている。これは、内閣府の「景気ウォッチャー調査」の8月調査における全国（40.0ポイント）の値を0.5ポイント下回った一方、東海（37.6ポイント）の値を1.9ポイント上回っている。

回答内訳をみると、「変わらない」（47.1%）の割合が約半数を占めており、次いで「やや悪くなる」（27.5%）の割合が高くなっている。

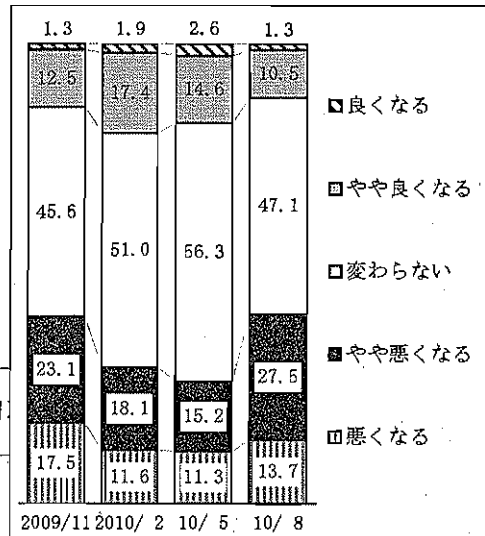
地域別・分野別のDI値をみると、地域別では、＜伊賀＞（45.8ポイント）や＜伊勢志摩＞（44.4ポイント）のDI値がやや高めとなる一方、＜東紀州＞（35.0ポイント）のDI値は低めとなっている。

分野別では、＜家計動向関連＞（40.5ポイント）以外の2分野で全国より低くなっている。

◇時系列推移



◇回答内訳



◇地域別・分野別DI

（単位：ポイント）

	三重県						東海	全国合計
		北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	【参考】	【参考】
合計	39.5	38.9	37.8	44.4	45.8	35.0	37.6	40.0
家計動向関連	40.5	42.8	39.0	41.7	—	—	37.8	39.6
企業動向関連	37.0	35.7	36.4	—	—	—	—	39.1
雇用関連	41.3	—	—	—	—	—	—	44.5

（注）三重県でサンプル数が10未満のものについては“—”で表示。

◇三重県分野別DI<時系列>

	(年/月)	2009/8	2009/11	2010/2	2010/5	2010/8
合計		49.8	39.2	45.0	45.5	39.5
家計動向関連		47.2	39.4	43.6	44.3	40.5
企業動向関連		55.1	40.6	47.3	48.3	37.0
雇用関連		50.0	35.0	46.1	45.0	41.3

4. 特徴的なコメント

(1) 景気の現状判断理由

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野	判断	地域	業種(職種)	コメント
家計 動向	◎	北勢	家電量販店(店長)	猛暑によりエアコンが爆発的に売れているほか、4月～6月に前年割れとなったテレビもボーナス商戦が好調で、売上を押し上げている。
	○	中南勢	住宅販売会社(営業)	展示場の来場者数が増加傾向となっている。さらに、客の購買意欲が高まっているほか、太陽光発電等への関心も高くなっている。
	□	北勢	理美容店(経営者)	客の様子からは、まだまだ厳しい状況が続いていると感じる。1人当たりの業務量は増えたものの、その原因は従業員数が減ったからに過ぎないという話を聞く。
	□	中南勢	コンビニ(店長)	猛暑で飲料・アイス等は売れているが、全体的には財布のひもの固い状態は続いている。
	□	中南勢	通信会社(店長)	猛暑の影響から、来客数が減少している。
	□	伊勢志摩	観光型ホテル(支配人)	宿泊客は、飲食にお金をかけないため、売上全体がなかなか増加してこない。
	▲	伊賀	レジャー施設(総務)	本年1～7月の伊賀地区内ゴルフ場の来場者数は、前年比96%と低調に推移しており、足もとの状況も3か月前と比べやや悪くなっている。
	▲	東紀州	一般小売店[ガソリンスタンド](営業)	6月下旬からの高速道路の一部無料化に伴い、ガソリン販売量はやや増加しているものの、価格競争が厳しく、効果は薄い。
	×	北勢	一般小売店[精肉](経理)	一般消費者の売上単価が落ちているほか、飲食店等の卸売も安価な商品の注文が増えており、高い商品が売れない。
企業 動向	□	北勢	電機機械器具製造業(経営者)	2009年下期にリーマン・ショック以前の70～75%程度の生産水準に持ち直したものの、それ以降は横ばいの状態が続いている。
	□	中南勢	サービス業(管理)	当社取扱商品の販売量に回復の兆しが見受けられるが、上向きとまでは言えない。
	×	北勢	不動産(経理)	不動産価格の低下に伴い、当社の賃貸物件に対しても値下げ要請が出てきている。
	×	中南勢	窯業・土石製品製造業(総務)	業界全体が低迷するなか、当社の生コン出荷量も減少している。
雇用	○	東紀州	民間職業紹介機関(経営者)	企業からの求人依頼件数が増えてきている。
	▲	伊勢志摩	学校(就職担当)	学生の就職の内定状況は、回復していないどころか、むしろやや悪くなっているように感じる。

## (2) 景気の先行き判断理由

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野	判断	地域	業種(職種)	コメント
家計動向	○	伊勢志摩	飲食店(総務)	伊勢神宮の近隣に位置する当社では、パワースポット巡りの人気が高まりや式年遷宮の好影響を受け、良くなると見込まれる。
	□	北勢	衣料品専門店(経営者)	ジュエリー等高額品のイベント等は好調な一方、日常的な衣料品はあまり売れておらず、前年並みの売上を維持できるか不透明である。
	□	中南勢	通信業(総務)	加入件数が、増加はしていないものの、底堅く推移しており、この状態が続くと見込まれる。
	□	伊賀	食品スーパー(店長)	当地域には製造業も多く、各企業が円高対策などに追われているようである。したがって、2~3か月後も消費者が安さを追求する状況は続くと見込まれる。
	▲	北勢	一般小売店[贈答品]	個人・企業ともに更に節約に努めることを踏まえると、今後もやや悪くなると見込まれる。
	▲	中南勢	大型小売店(経営企画)	購買意欲の低迷を背景に、地元からの来客数は減少が続くと見込まれる。ただし、伊勢自動車道の津-伊勢間の無料化(~2011年3月)に伴い、県南方からの来客数は増加傾向にある。
	▲	中南勢	都市型ホテル(スタッフ)	予約状況を見ると、昨年までは入っていた団体客の予約が、今年は入っていない。消費者は同窓会などの出費を抑えているようだ。
	▲	伊勢志摩	一般小売店[酒類](営業)	個人は生活に必要なものだけを安くで購入し、贅沢品・嗜好品にかかる費用を減らす傾向にある。そのため、酒類の販売は厳しくなると見込まれる。
企業動向	×	北勢	乗用車販売店(財務)	補助金制度終了後、海外で新車販売台数が30%以上減少したと聞くため、当社も同程度落ち込むとみる一方、エコカー減税(~2011年3月末)による、落ち込みの緩和を期待している。
	□	中南勢	運輸業(総務)	荷主からの要求はさらに高度になることが見込まれるため、現在の仕事を維持するので精一杯の状況である。
	▲	北勢	輸送用機械器具製造業(総務)	エコカー補助金制度の終了後の反動、円高、景気の減速懸念など、不安要素が多い。
	▲	北勢	化学工業(総務)	このところ少し持ち直してきていたが、円高の影響により、利益の確保が難しくなる。
	×	東紀州	建設業(営業)	現在の工事量では、年度計画に対し明らかに足りていない。大規模な工事が発注される予定もなく、先行きも厳しい。
雇用	×	北勢	学校(就職担当)	現下の厳しい雇用情勢は単年度で解決するものではなく、今年度就職できなかった学生が、次年度に安定した職に就くことは大変厳しいと考えている。
	×	中南勢	民間職業紹介機関(営業)	円高が進行しており、今後、雇用情勢にも悪影響が出てくると見込まれる。

## ■総合判断

以上のように、需要側からみた景況感をあらわす本調査によると、県内景気の水準は依然として低く、方向としては緩やかな持ち直しが続いているものの、先行きは減速懸念がみられる。

一方、供給側の景況感として、三重県中小企業団体中央会「三重の景況」の現状判断に関する回答割合をみると、持ち直しの動きが緩やかになっている。そのほか、各種統計を合成した三重県「景気動向指数」によると、先行指数や一致指数が、おおむね横ばいで推移している。

これらを総合的に判断すると、三重県の景気は、緩やかな改善傾向を辿っているものの、減速していくことが懸念される。

	2009年				2010年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
本調査（ポイント）												
水準判断D↑	—	—	19.2	—	—	27.6	—	—	33.4	—	—	38.9
現状判断D↑	—	—	34.5	—	—	42.3	—	—	45.4	—	—	48.4
先行き判断D↑	—	—	39.2	—	—	45.0	—	—	45.5	—	—	39.5
三重県産業支援センター「景況調査」（%、ポイント）												
今期の県内景気（水準）「良い」の割合	—	—	0.3	—	0.6	—	—	—	0.3	—	—	—
同「ふつう」の割合	—	—	11.4	—	12.5	—	—	—	26.9	—	—	—
同「悪い」の割合	—	—	87.7	—	85.7	—	—	—	72.4	—	—	—
景況感D↓（前期比：「好転」-「悪化」）	—	—	▲45.6	—	▲47.6	—	—	—	▲23.2	—	—	—
来期見込み（今期比）「好転」の割合	—	—	4.4	—	5.7	—	—	—	12.3	—	—	—
同「不変」の割合	—	—	61.7	—	59.2	—	—	—	67.1	—	—	—
同「悪化」の割合	—	—	33.6	—	33.6	—	—	—	19.9	—	—	—
三重県中小企業団体連合会「三重の景況」（%）												
「好転」の割合	2.5	2.5	5.0	7.5	7.5	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	—	—
「変わらず」の割合	27.5	25.0	17.5	25.0	22.5	25.0	30.0	32.5	27.5	35.0	—	—
「悪化」の割合	70.0	72.5	77.5	67.5	70.0	65.0	60.0	57.5	62.5	57.5	—	—
三重県「景気動向指数」（2005年＝100）												
先行指数（C↑）	85.9	94.2	98.3	95.2	86.1	82.6	87.3	82.0	85.6	84.1	—	—
一致指数（C↑）	48.6	48.5	51.9	58.7	65.1	66.2	64.7	68.0	65.4	68.3	—	—
遅行指数（C↑）	111.0	108.0	107.7	110.1	114.0	117.5	118.8	117.9	122.5	119.6	—	—



# 企業実態調査（平成22年8月訪問調査結果）

平成22年10月4日

## <調査対象>

### ○地域

(件)

	H21.7	H21.12	H22.5	H22.8
1. 北勢	104	45	43	94
2. 中勢	73	34	27	63
3. 南勢	52	24	18	46
4. 伊賀	29	15	14	22
5. 東紀州	23	11	10	16
合計	281	129	112	241

(%)

	H21.7	H21.12	H22.5	H22.8
1. 北勢	37.0%	34.9%	38.4%	39.0%
2. 中勢	26.0%	26.4%	24.1%	26.1%
3. 南勢	18.5%	18.6%	16.1%	19.1%
4. 伊賀	10.3%	11.6%	12.5%	9.1%
5. 東紀州	8.2%	8.5%	8.9%	6.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ○業種

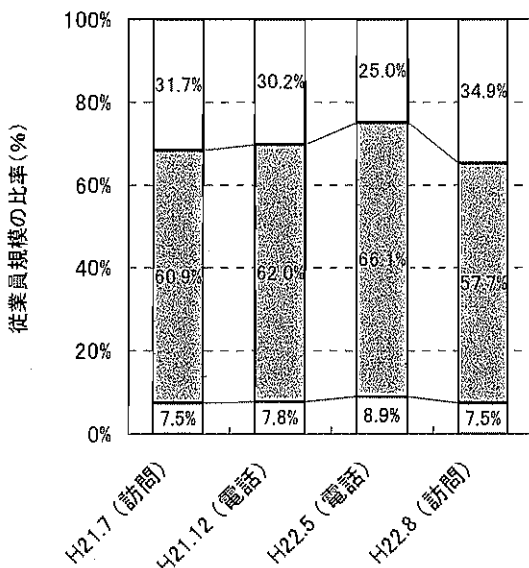
(件)

	H21.7	H21.12	H22.5	H22.8
1. 輸送用機械	20	8	8	19
2. 電気・電子機械部品	26	14	14	25
3. 一般機械	33	13	12	24
4. 化学	20	9	9	17
5. その他製造業	98	50	39	90
6. 卸・小売業	53	25	21	45
7. サービス業	31	10	9	21
合計	281	129	112	241

(%)

	H21.7	H21.12	H22.5	H22.8
1. 輸送用機械	7.1%	6.2%	7.1%	7.9%
2. 電気・電子機械部品	9.3%	10.9%	12.5%	10.4%
3. 一般機械	11.7%	10.1%	10.7%	10.0%
4. 化学	7.1%	7.0%	8.0%	7.1%
5. その他製造業	34.9%	38.8%	34.8%	37.3%
6. 卸・小売業	18.9%	19.4%	18.8%	18.7%
7. サービス業	11.0%	7.8%	8.0%	8.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

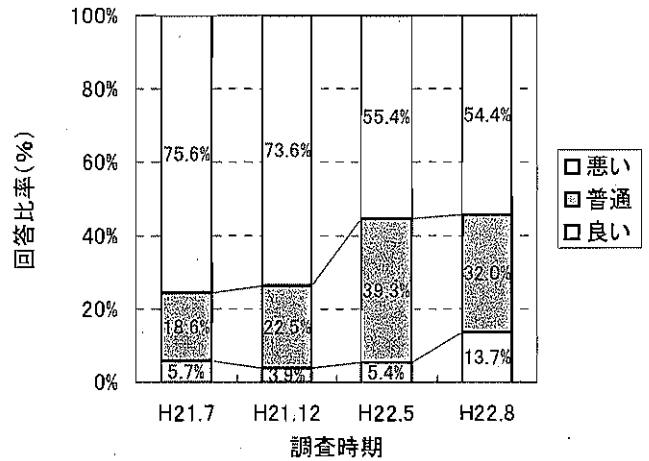
### ○調査実施先の従業員規模の構成



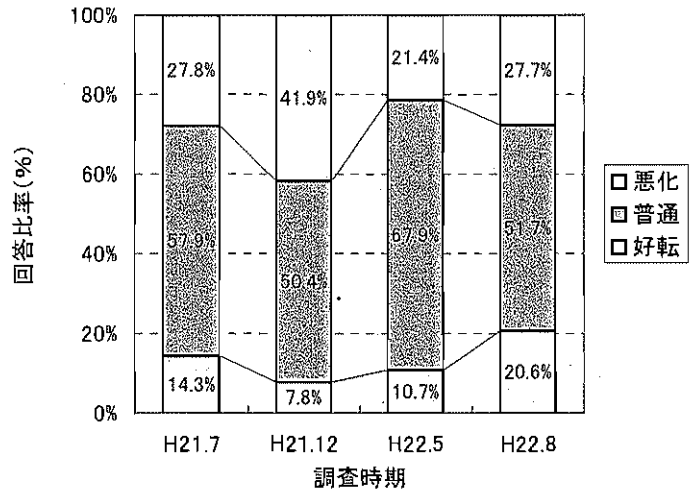
調査時期及び手法

## 問1. 業況感

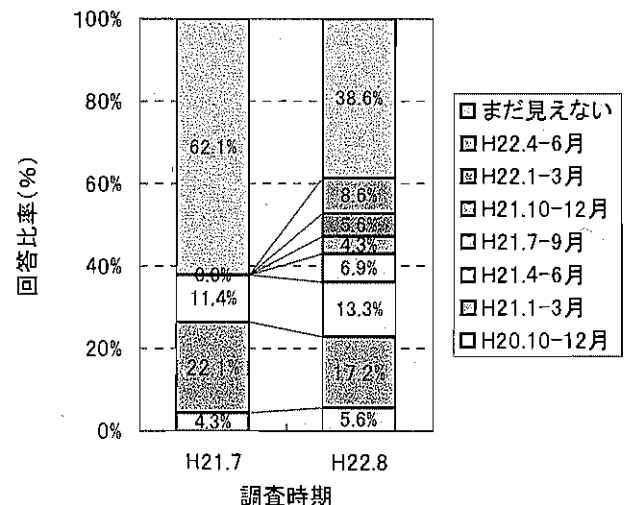
### 1-1 現在の業況感



### 1-2 今後2~3ヶ月先の業況感

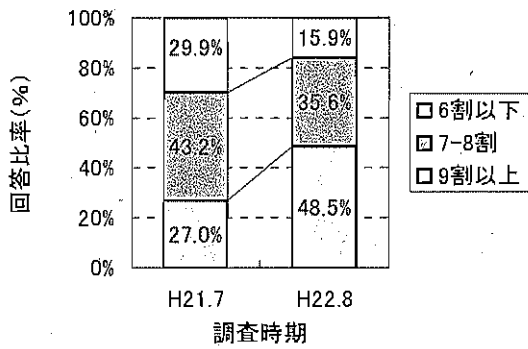


### 1-3 業況の底の時期



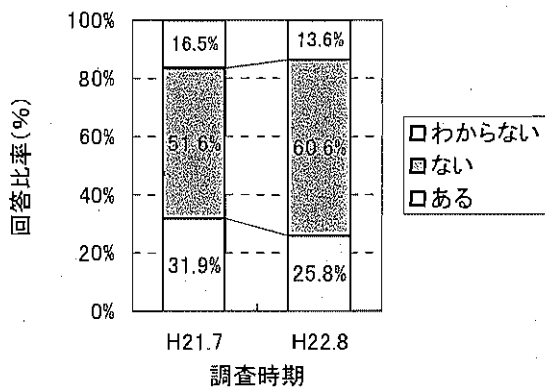
## 問2. 現在の操業状況

### 2-1 現在の操業状況(通常期との比較)

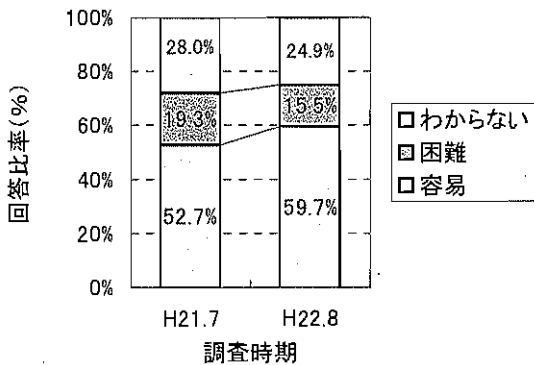


## 問3. 資金調達

### 3-1 新規の借入または借入の増額を行う必要性

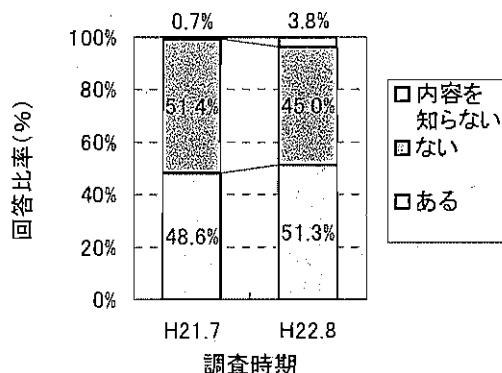


### 3-2 借入は容易にできるか?



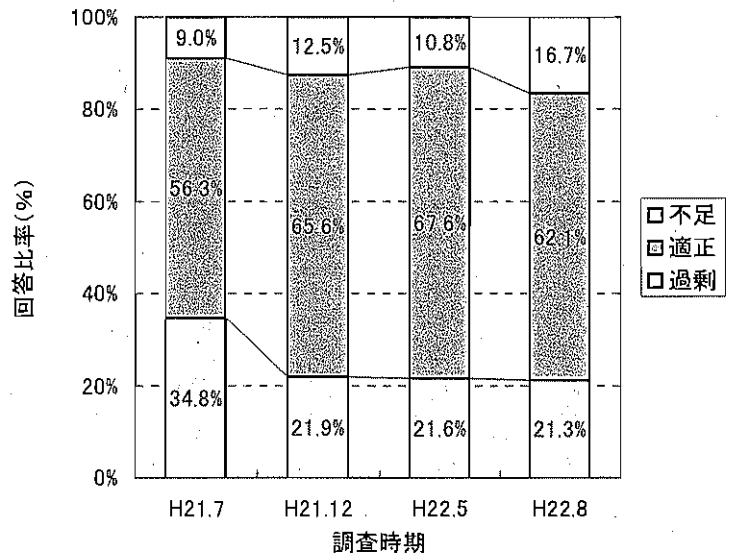
## 問4. 支援施策等の活用

### 4-1 県・国の支援策の活用の有無

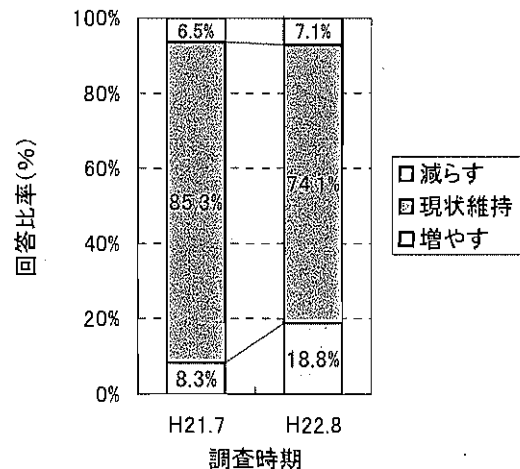


## 問5. 雇用状態

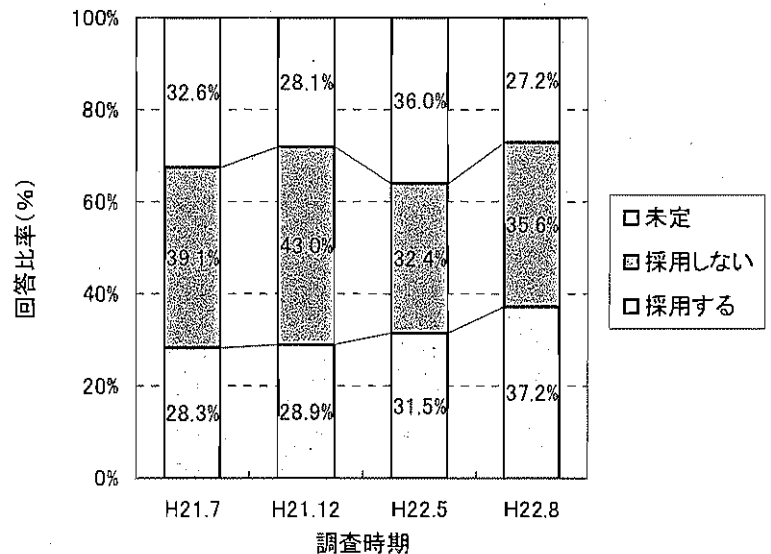
### 5-1 現在の雇用人員の過不足感



### 5-2 今後2~3ヶ月先の雇用人員



### 5-3 来年度の新規採用に対する考え



## 円高に関する緊急中小企業調査の結果

### 1. 目的

急激な円高により県内の輸出関連中小企業への影響が懸念されることから、その実態を把握して、より実効性のある経済対策等の基礎資料とする。

2. 調査時期 平成22年9月17日(金)～9月22日(水)

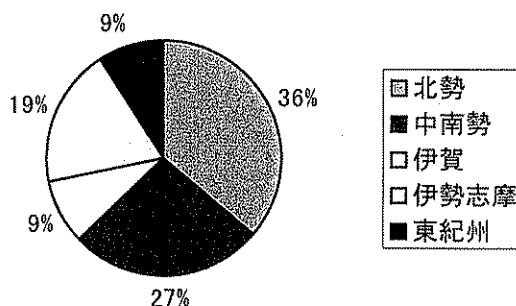
3. 調査方法  
 ・県内全域の商工団体を通じて電話等による聞き取り調査の実施。  
 ・主に製造業とし各商工団体地区にて製造業以外を1社含むこととした。  
 ・製造業は一般機械、輸送機械、電気・電子機器の業種を主として、輸出関連企業を重点的に行うものとした。

4. 調査対象  
 商工会会員 74社  
 商工会議所会員 60社  
 中小企業団体中央会会員 32社 計166社

### 5. 結果概要

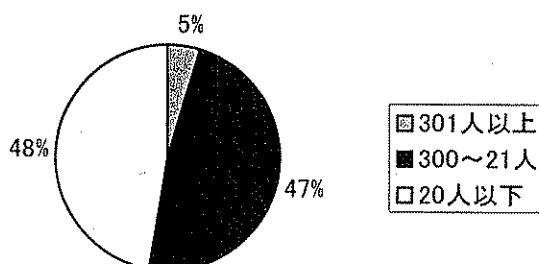
#### ◆1 企業所在地

所在地域	件数
北勢	60
中南勢	44
伊賀	15
伊勢志摩	32
東紀州	15
計	166



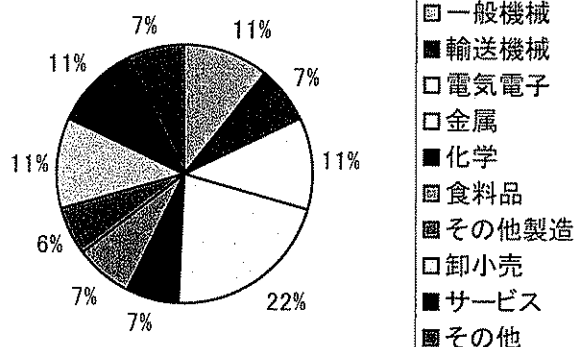
#### ◆2 企業規模

企業規模	件数
301人以上	8
300～21人	79
20人以下	79
計	166



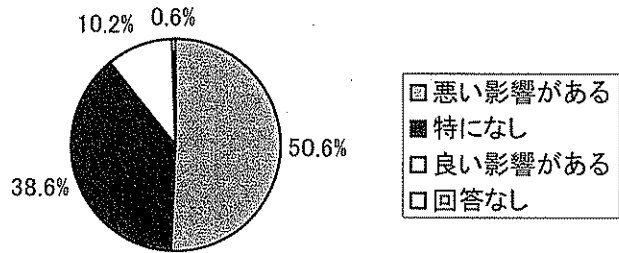
#### ◆3 業種

業種	件数
一般機械	18
輸送機械	12
電気電子	19
金属	35
化学	11
食料品	12
その他製造	10
卸小売	19
サービス	18
その他	12
計	166



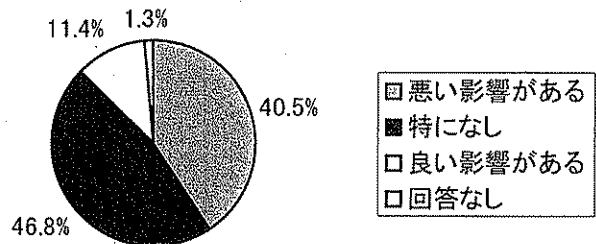
【設問1】 円高の進行による経営への影響は？

項目	件数
悪い影響がある	84
特になし	64
良い影響がある	17
回答なし	1
計	166



※うち20人以下の小規模事業者

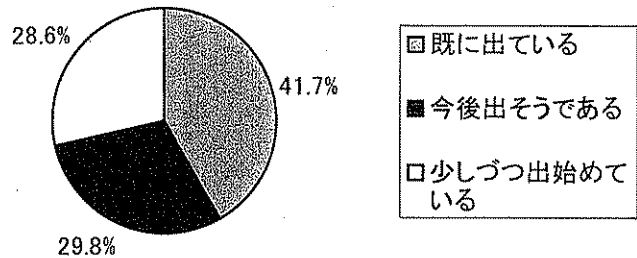
項目	件数
悪い影響がある	32
特になし	37
良い影響がある	9
回答なし	1
計	79



★以下、設問1で「悪い影響がある」と回答した方について

【設問2】 影響の時期は？

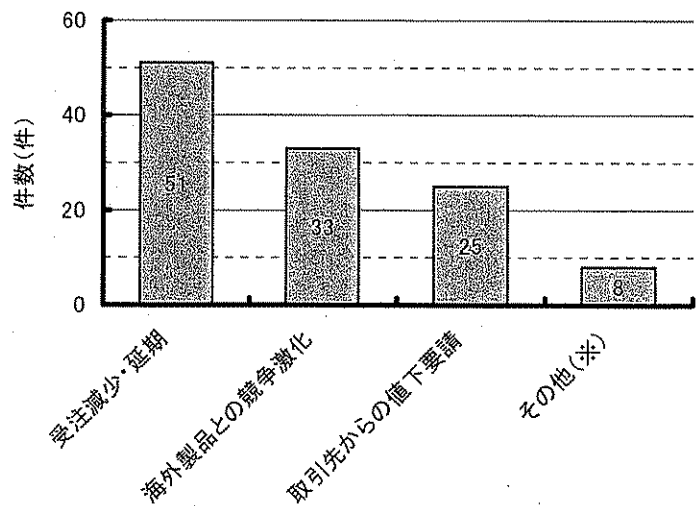
項目	件数
既に出ている	35
今後出そうである	25
少しずつ出始めている	24
計	84



【設問3】 影響の内容は？

※対象84社。複数回答可

項目	件数
受注減少・延期	51
海外製品との競争激化	33
取引先からの値下要請	25
その他(※)	8



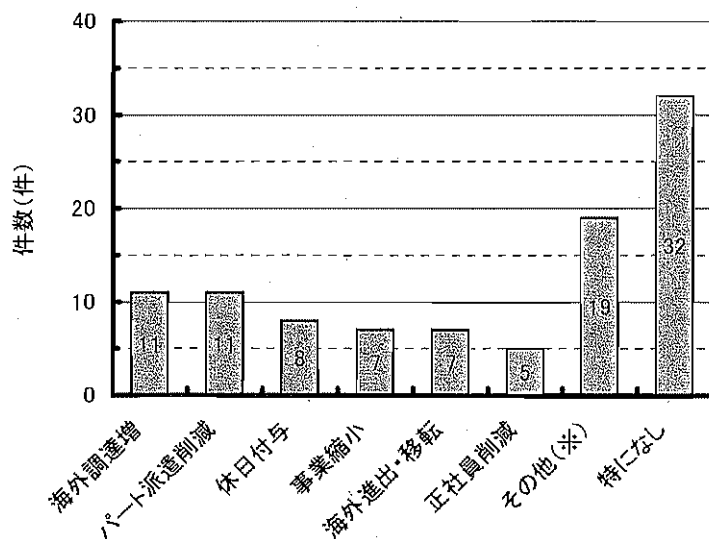
※「その他」

- ・契約がドル建て、売係金回収時の為替差損
- ・取引先の海外展開加速
- ・輸出産業の売上減少による需要減退

【設問4】 自社で行う円高対策は？

※対象84社。複数回答可

項目	件数
海外調達増	11
パート派遣削減	11
休日付与	8
事業縮小	7
海外進出・移転	7
正社員削減	5
その他(※)	19
特になし	32



※「その他」

- ・コスト削減、合理化推進
- ・新規取引先や製品創出
- ・仕入対策
- ・客先への値上げ交渉、為替予約

## まとめ

### 1. 円高の進行による経営への影響について

- ・今後の懸念も含めて、円高により「悪い影響がある」と回答した企業は約50%であった。「悪い影響がある」とした企業の中で、「既に悪い影響が出ている」とした企業は、41.7%と、全回答企業中の約21%であった。
- ・小規模事業者にあつては、それ以外の企業の場合より、まだ円高による悪影響を実感している率は小さかった。
- ・「良い影響がある」「特になし」の回答は、輸入企業であることを理由に挙げる声が多かった。

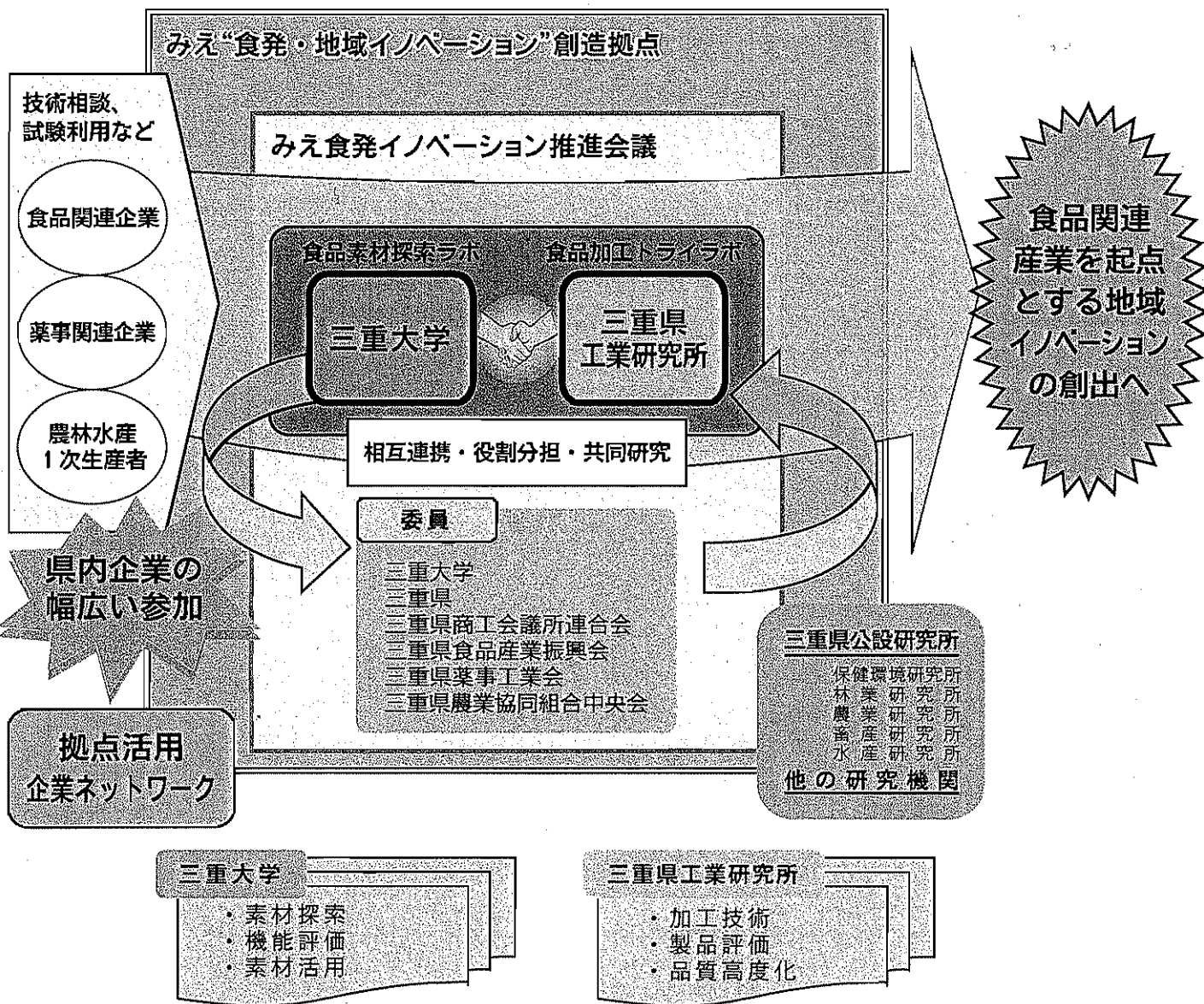
### 2. 「悪い影響がある」と回答した企業(84社)について

- ・悪い影響のあった時期については、「既に出ている」が約4割であり、多くの企業は、今後の悪影響を懸念している。
- ・悪い影響の内容は、「受注の減少・延期」が51件で最も多く、次いで、「海外製品との競争激化」33件、「取引先からの値下げ要請」25件となった。「その他」の回答では、契約におけるドル建てによる売係金回収時の為替差損などがあつた。
- ・自社での円高対策については、「特になし」が圧倒的多数を占めており、次いで、「海外調達増」「パート・派遣社員の削減」となった。「その他」の回答では、コスト削減・合理化推進、新規の取引先・製品の創出、仕入れ対策などがあつた。

### 3. 意見等

- ・急激な為替レートの変動により、経営の見通しが立たないことに困惑している企業が多い。
- ・日本単独での為替レートへの介入の効果は疑問とする声や、自由貿易協定の推進を求める声もあつた。
- ・円高メリットを積極的に享受しようとする消費者心理が、長引く不況と将来不安から抑制されているとの意見もあつた。

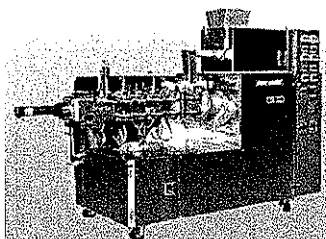
「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」における  
産学官共同研究の進め方



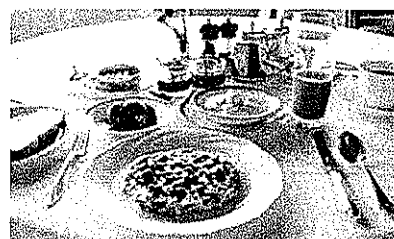
想定する共同研究プログラム例



地域天然資源の機能性活用  
地域天然資源の機能性・安全性データベースの充実



先端食品加工技術への挑戦  
ものづくり技術・企業の応用展開



医食同源を判り易く提示  
健康を食から発信



美しい国・三重



別添7  
見て食べて  
買って作って  
楽しんで

# 農 商 工 連 携 フェア

入場無料

三重の「美味しい」が大集合!! にご来場お待ちしております!!

2010  
10/24日 10:00~16:00

松阪農業公園  
「ベルファーム」  
松阪市伊勢寺町551-3

買って  
展示即売会

三重県内の農林水産物を活用した商品の展示即売会イベントです。約60ブースの出展者が皆様をお待ちしています。また500円以上購入された方にアンケートをお渡ししますので、お答えいただいた方に抽選で、下記の素敵な三重ブランド商品が当たります!

※アンケートは後日、郵送いただきます。



松阪牛 10名様



伊勢焼うどん 10名様



伊勢海老 2尾 10名様

作って  
新商品開発大会

一般応募でいただいたアイデアをもとに作った試作品を皆様が試食&投票、新商品作りに協力していただくイベントです。ユニークな一品が見つかるかも!  
※アイデア募集は9月17日で締め切りとさせていただきます。  
※試食品の数は限りがございます。なくなり次第、終了とさせていただきます。

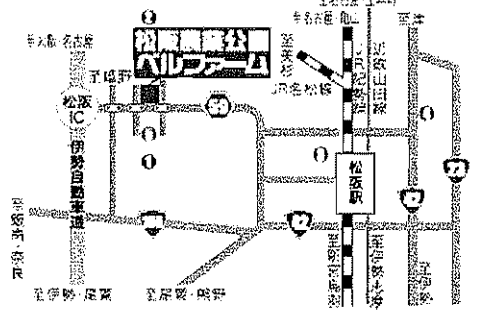


楽しんで  
試食・体験コーナー

県内の協賛企業等による楽しい試食・体験イベントです。マイ箸作りや紙芝居、木工教室、豆腐づくり体験など、他にも楽しい企画がもりだくさん!  
※試食品等には限りがございます。なくなり次第、終了とさせていただきます。



◎会場ご案内図



◆お車をご利用の場合 伊勢自動車道松阪インターより東に約500m  
◆公共交通機関 JR 近鉄松阪駅より無任シャトルバスで約30分

臨時駐車場、無任シャトルバスが便利です

- ベルファーム駐車場が満車の際、ご利用ください。
- ①伊勢寺小学校運動場・通員駐車場(約130台)
- ②JA阿坂ライスセンター(約50台)
- ③ヴィラ・フェリスオルヴィエート隣接第三旅行所有地(約70台)
- ④松阪ショッピングセンター マーモ第6、7駐車場(約300台)
- ⑤JA伊勢寺倉庫(約40台)

主催/三重県 後援/松阪市、松阪市「美しい国・三重」実行委員会、(財)三重県産業支援センター、(財)三重県農林水産支援センター、三重県商工会同連合会、三重県農工商連合会、三重県食品産業振興会、JA会連合会、松阪農業公園同組合、三重県木材協同組合連合会、株式会社伊豆屋、松阪ショッピングセンター・マーモ

## 1 多様な主体からの意見聴取の主な内容

### 県民・観光客等

…三重県と鈴鹿国際大学で観光を学ぶ学生との意見交換会（7/13）、県民・事業者アンケート（5～7月）、美し国みえ観光まちづくり講演会（9/14）、観光客実態調査（年4期）、外国人観光客実態調査（年2期）、出前トーク（随時）等

- ・行政・観光事業者・その地に住む住民が、三位一体となり観光まちづくりを行うことが、観光の発展、まちの発展につながる。
- ・他県の友人に、三重県の観光地を尋ねたところ、ナガシマと神宮しか思い浮かばないと言われた。多くの観光資源があるので、もっと大々的にPRすればよい。
- ・県外や外国からの観光客は公共交通機関を利用する。しかし、車でアクセスする道路ばかりが便利になっている。有名な観光地こそ、円滑な移動ができないといけない。
- ・現地に外国語パンフレットをもっと準備すべきだと思う。

#### 県民・事業者アンケート【速報】(1,189人)

##### 【県民が評価する三重県観光のイメージ】

- 第1位 自然や風景が素晴らしい
- 第2位 おいしい食べ物がある
- 第3位 歴史や文化が素晴らしい
- 第4位 祭りや伝統芸能や特産品がある
- 第5位 他にない見どころがある

##### 【今後の三重県観光に期待すること】

- 第1位 三重県産の食材を活かした食の魅力づくり
- 第2位 県産品のブランド力を活かした土産や特産品づくり
- 第3位 地域の観光資源を活かした観光地づくり
- 第4位 ホームページやパンフレットを活用した観光情報の発信
- 第5位 キャンペーンやイベントによる新たなイメージづくり

#### 観光客実態調査【速報】(H22春期751人)

##### 【個別満足度（上位5項目）】

- 第1位 景観・雰囲気（自然の景観・雰囲気）
- 第2位 宿泊施設（食事の質）
- 第3位 観光施設（施設・体験の内容）
- 第4位 宿泊施設（従業員のおもてなし）
- 第5位 景観・雰囲気（まちなみの景観・雰囲気）

##### 【個別満足度（下位5項目）】

- 第1位 費用負担
- 第2位 情報・案内
- 第3位 地域住民の対応
- 第4位 物販施設（お土産・商品の内容）
- 第5位 物販施設（店員のおもてなし）

#### 外国人観光客実態調査（H22冬期990人）

##### 【知人への三重県の紹介意向】 はい 87.5%

- （理由）
- ・風景がとても美しい
- ・伊勢神宮や忍者博物館など、歴史文化が素晴らしい
- ・古いものと新しいものが調和している

##### 【不便に感じたこと（上位3項目）】

- 第1位 交通（公共交通機関の乗り継ぎ、本数等）
- 第2位 言葉
- 第3位 標識（標識がない/分かりにくい）

- 地域住民も一体となった観光まちづくりの取組が重要！
- さらなる認知度の向上が必要！
- 外国人観光客の受入体制の整備が必要！（現地での観光案内、二次交通等）等

### 有識者・学識経験者

…三重県の観光振興のあり方検討懇話会（7/16、9/9）等

- ・これから10～20年先を考えたとき、社会資本整備を含めたハードの充実が必要である。
- ・観光による文化の消費ばかりではなく、今こそ、自分たちの感性を磨き、三重の文化や魅力の創出など、「次を考える」ことが大事である。
- ・観光客の動きや流れは「観光動線」に左右される。乗り継ぎの不便さなど、動線の目詰まりを直すことが大事である。
- ・「おもてなし」の姿勢は崩してはいけない。良い観光地を作るため、地域の人々が心を合わせていくことは大事である。
- ・県には、太い方針を持って長期的な展望を示してほしい。例えば、意欲のある民間人が出てくる仕組みを作るなど、大元を固めること。

- ・「美し国」のキャッチフレーズは三重県の核。永遠に言い続けてもらいたい。一方で、その時々「売り」となるフレーズも求められる。
- ・観光パンフレットに、真っ黒に日焼けしたおばあちゃんを用いるなど、地元の人をどんどん観光戦略に巻き込んでほしい。
- ・県には全体のコーディネートが求められる。「点」として存在する県内の観光地をつないでほしい。
- ・地域が盛り上がらないと全体が盛り上がらない。三重県でも、地域の取組が大事。
- ・観光の究極の目的は「観光客に対する満足の提供」である。これを実現すると我々も嬉しい。また、この目的を通じて、県内の経済活動も盛んになる。

- 官のリーダーシップによる社会資本整備が必要！
- 地元の文化を深く知ることが、次の観光につながる！
- 地元住民も含め、地域そのものを「売り」にすることが必要！
- 三重県に来ないと体験できない「空間」と「時間」の提供が大事！
- 意欲にあふれた観光人材の育成が必要！
- 観光客への満足の提供を通じて、事業者もやりがい高め、経済活動も盛んになる！
- 県民に、観光を理解してもらわないと、地元の総意として観光振興に取り組むことはできない！ 等

### 観光事業者・観光協会等

…県民・事業者アンケート（5～7月）、美し国みえ観光まちづくり講演会（9/14）、三重県観光連盟地域懇話会（県内3箇所）（9月）、観光連盟理事会（9/30）、観光局主催の各種意見交換会（随時）等

- ・誘客だけでなく、地域の魅力である景観保全にも力を入れてほしい。
- ・観光事業者は利害関係からネットワークづくりが難しい。県には、広域連携のための支援をお願いしたい。
- ・他県で観光振興条例の制定が進んでいる。三重県でも「検討を進める」と聞き、宿泊業に携わる者として期待したい。

#### 県民・事業者アンケート【速報】(154団体・事業者)

##### 【今後の三重県観光に期待すること】

- 第1位 ホームページやパンフレットを活用した観光情報の発信
- 第2位 キャンペーンやイベントによる新たなイメージづくり

- 第3位 道路や町並みの整備、景観づくりなどの基盤整備
- 第4位 県産品のブランド力を活かした土産や特産品づくり
- 第4位 三重県産の食材を活かした食の魅力づくり

- 広域連携のため、県にはコーディネート機能の発揮を期待！
- 地域の魅力である景観保全が大切！ 等

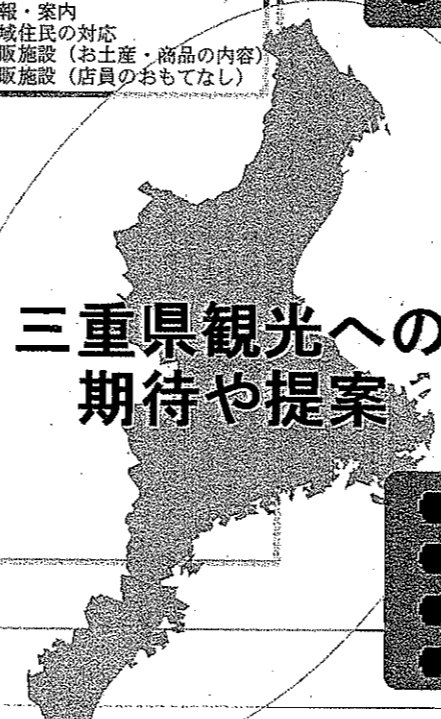
### 市町

…「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」検討会議（6/29、8/31）、トップ会議・地域会議（膝づめミーティング）（7/23～8/24）、美し国みえ観光まちづくり講演会（9/14）等

- ・市郊外の観光施設が全体の入込の大半を占めており、旧市内の入込は少ない。しかし、市内を活性化しないと、全体が盛り上がらない。
- ・通り抜け観光が主となっているため、着地型商品の充実による滞在型観光を進めたい。
- ・インバウンド施策など、市町単位の取組では限界があるため、県には施策の充実をお願いしたい。
- ・地域の特性を生かした「地域ブランド」を育成し、観光と連携させていきた

- 地元にお金落ちる仕組みが必要！
- 通り抜けされないため滞在性の向上が必要！
- 海外誘客では、市町では限界もあり県の施策充実が必要！
- 地域資源を「地域ブランド」として育成したい！ 等

## 三重県観光への期待や提案





## 2 三重県観光振興条例（仮称）の主な構成（案）

### 前文

観光振興の目的、三重県観光のめざすべき姿、三重県観光の可能性や特徴（例：三重県は「日本人の旅の原点」といわれた、あこがれの地etc）等を記載するとともに、条例を推進力として、県全体で三重県観光の持続的な発展に向けた取組を進めることを宣言する！

### 目的

三重県観光の持続的な発展をはかるため、基本理念を定め、多様な主体の役割を明らかにするとともに、施策の基本的な事項を定めることにより、施策を総合的かつ計画的に推進する。

もって、本県経済の持続的な発展をはかるとともに、県民が郷土への誇りと愛着を持つことのできる地域社会の実現をめざす。

### 基本理念

次の事項を基本として、県、市町、県民、観光事業者及び観光関係団体がそれぞれの責務又は役割を担い、三重県観光の持続的な発展をはかる。

- 【社会的効果】 地域資源の活用や地域の魅力の再発見を通じて、郷土への誇りと愛着を醸成する。
- 【経済的効果】 観光振興による地域経済の活性化を通じて、「産業としての観光」をより確かなものとする。
- 【構造変革】 平成25年の式年遷宮後も持続する強靱な観光構造を構築する。

### 多様な主体の責務・役割

県（責務）	県民（役割）	観光事業者（役割）	観光関係団体（役割）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的かつ計画的な施策を策定し実施する</li> <li>○多様な主体が相互連携できるように総合調整をはかる等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光に対する理解と関心を深める</li> <li>○それぞれの立場で観光旅行者を温かく迎える</li> <li>○ワークライフバランスの向上に観光を活用し、自らの観光行動を活発化させる等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な産業との連携により、観光旅行者に提供する製品・サービスの質を高める</li> <li>○地域社会や地域経済の活性化への貢献に努める等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本物や旬など魅力ある観光情報を提供する</li> <li>○観光旅行者の受入体制の充実・整備を行う</li> <li>○観光事業者間の連携促進をはかる等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市町（との協力）</li> <li>○市町が行う観光振興に関する施策の推進に対し、情報の提供、技術的な助言等を行う等</li> </ul>			

### 基本施策

- 《国内外からの誘客に向けた戦略的な情報発信と誘客のしくみづくり》
  - 地域ブランドや本物の魅力を生かしたエリア別・ターゲット別の情報発信
  - 周遊性・滞在性の向上による県内での宿泊観光の促進
  - 体験学習を中心とした教育旅行の誘致
  - 中部と関西の間に位置する地理的特性を生かした海外からの誘客
  - 県内外における広域連携の推進・促進 等
- 《地域資源を活用した観光の魅力づくり・人づくり》
  - 地域が主体的に行う魅力ある観光地づくりへの支援
  - 地域の観光産業を支える人材の育成支援
  - 地域の資源を活用した新たなツーリズムへの対応
  - 県民の郷土への誇りと愛着の醸成と観光行動の促進
  - 観光産業の高度化・複合化の推進・促進 等
- 《快適性・利便性の高い観光地に向けた社会基盤整備》
  - まち並みの整備と一体となった観光地の景観整備や観光拠点づくり
  - 観光旅行の安全・安心の確保
  - 観光振興に資する交通基盤等の整備促進
  - 外国人観光客を含む受入体制の充実 等

### その他必要事項

基本計画の策定、観光統計の整備、財政上の措置 等

三重県の独自性や特色を盛り込みながら、引き続き、具体的な検討を深める

## 3 今後の予定

今後の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三重県の観光振興のあり方検討懇話会（11月12日、1月）</li> <li>○「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」検討会議（10月8日、12月、1月）</li> <li>○（市町も参加する）トレンドセミナー（10月21日）</li> <li>○パブリックコメント（12月頃）</li> <li>○観光客実態調査（秋期・冬期）</li> <li>○外国人観光客実態調査（秋期）等</li> </ul>						
スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>平成22年第2回定例会9月会議</td> <td>条例の主な構成・項目（案）</td> </tr> <tr> <td>平成22年第2回定例会12月会議</td> <td>条例（素案）</td> </tr> <tr> <td>平成23年第1回定例会3月会議</td> <td>条例（案）</td> </tr> </table>	平成22年第2回定例会9月会議	条例の主な構成・項目（案）	平成22年第2回定例会12月会議	条例（素案）	平成23年第1回定例会3月会議	条例（案）
平成22年第2回定例会9月会議	条例の主な構成・項目（案）						
平成22年第2回定例会12月会議	条例（素案）						
平成23年第1回定例会3月会議	条例（案）						

第三次戦略計画（仮称）の策定状況も踏まえながら、議会への提案時期を検討